

素晴らしきかな日本の民主主義（二）

加藤淳平

汝ら國會議員、當選を數回重ね、有力者が好意を得て餘念なく相勤むる間、國會に於て、質問に立つ機會あり。汝ら野黨の國會議員なりとせば、政府に參劃すること稀にして、大臣任命の榮に浴するを、ほぼ望み得ず。されば汝らにとり、テレビ中繼ある日に、國會に於て質問に立つは、政治活動最高の譽れの場ならむ。

若しくは汝ら、興黨議員なれば、野黨議員より遙かに有利にして、政府閣僚、即ち政府各省廳の大臣に任命せられ、大臣として、晴れの場の多くに、英姿を顯はす機會あり。されど斯く大臣となれる汝らにとりても、テレビに中繼せらるる日の國會の議場にて、政府の一員として答辯に立つは、汝らが政治家として人生最高の場なるのみか、汝らが選舉區の選舉民に、「我らが先生」の國會に於ける活躍を知らしめ、絶好の、「地盤」を一層強固にする機會ならずや。

斯くて質問に立つ野黨議員にも、答辯に立つ内閣總理大臣と、閣僚たる各省廳大臣に取りても、國會の衆參兩院に於ける質疑こそ、日本の民主主義政治が、最高の行事なれ。然ればそを完璧なるものとすべく、關係者擧りて努むるはうべなり。

暫し汝らが國會に於ける答辯のため、政府各省廳に勤むる公僕ら、如何に働くかを見よ。渠ら公僕、公の僕べなれば、取りも直さず、選舉によりて國民の選べる選良たる汝らが僕べならずや。然れば渠ら、當然の事として、斯く働くなり。

政府各省廳、國會の會期前、各部局・各課ごとに、全てのあり得べき質問を想定、詳細なる答辯資料を作成の上、印刷す。こはかなり浩瀚なる資料にして、總理及び各省廳大臣ならば祕書官及び他の、時に答辯に立つ幹部職員、國會開會中、常時携行を要する基本資料、所謂「アンチョコ」ならずや。

國會に於ける政府首班たる總理、及び閣僚たる各省廳大臣に對する議員の質問、並びに總理及び大臣の答辯は、前日にほぼ例外無く、質問する議員より、詳しく質問内容を政府側に通報せらる。事前の通報無く、議員の質問するは極めて稀にして、さして重要ならざる問題に限る。

質問する議員、大方は自らの祕書等の補助を得て、質問を準備するも、一部の野黨議員には、今は異なりたらむも一頃は、如何なる質問を行ふや、政府側の意向に全面的に従ひ、政府職員を書き下したる質問文を、國會の議場に於てその儘読み上ぐる者、かなり多數ありき。

政府各省廳の國會答辯擔當官らが國會答辯準備、質疑前日より耐となる。各省廳に國會擔當部局の職員ありて、この職員ら、國會會期中のほぼ毎日、午後晚くより、翌日の質問を豫定せらるる議員の事務所等を廻りて、詳しく質問内容を入力し、自省廳擔當の業務に係る質問あらば、それを印刷し、關聯業務擔當部局課に配布す。

是、日によりて異なれど、多くは國會答辯擔當官らが、ほぼ夕食の時間頃のことなれど、

質問内容の、夕食より遅れて到着することもあれば、國會答辯擔當者ら、概ねのんびりと同僚らと雑談などしつつ、夕食を食す。擔當業務に關する質問到着せば、渠ら夕食後直ちに答辯案を作成、その後自省内及び他省廳の關係部局課との協議に掛かる。

協議内容、さして複雑ならずして、前に作成せる答辯資料を、その儘利用し得ることもあれど、さにあらで、答辯資料を利用し得ざる新規の問題に係る質問にて、微妙なる答辯を要し、而も新たに、自省内又は他省廳の、幹部に至るまでの了承を要すること、無きに非ず。

斯かる場合は、協議とそれに基づく答辯案の變更に、長時間を費やし、往々にして協議のための待ち時間を含め、翌日の朝に至る。國會答辯擔當者ら、電車の始發時間となり、夜明けとともに電車内にて假の睡眠を採りつつ、歸宅し得ることもあれば、或いは大臣の希望等により、質問の行はるる前の朝一番に、大臣への、答辯内容御進講の設定せられ、朝の歸宅をなし得ざることもあり。

答辯起草の業務に従事する者、各省廳入省後、未だ年を経ざる二十代の少壯上級公務員らなり。渠等、質問の當日朝の大臣への御進講にも、又固より、實際に質問と答辯の行はるる國會の議場にも、出席の要あれば、結局一夜を、満足に横になりての睡眠を採り得ずして過すこと、國會會期中の幾日にものぼる。されどそは若き者らにして、公務がために給料を得る者なれば、當然のことならずや。

朝の答辯内容の御進講も終りて、愈々議員質問の行はるる議場とならば、野黨のみならず、與黨も含めて議員の質問に應へ、政府側各大臣、次々と答辯に立つ。作成せられたる答辯案を見つつ、自らの言葉もて答辯を行ふ答辯者もあれば、唯答辯案を讀み上ぐるのみなる答辯者もあり。國會會期中、政府行政機關の業務に、國會に於ける政府首班及び閣僚の答辯關係業務の、占むる比率幾ばくぞ。小さき比率に非ず。されば日本の國會會期中は、政府の政治的判斷を要する業務、停滞するを免れず。答辯關係業務に従事する少壯上級公務員ら、同時に政府内に於て、實質的なる政治的判斷を行ふ者なればなり。

さりとて汝ら、日本の民主主義政治が中核たる國會議員ら、何でふそを意に介することあらんや。我らが日本國、民主主義の深く根を下ろす國なれば、選舉もて選ばれたる汝ら國會議員と、選舉に關はり無き渠ら公務員、即ち主人たる汝らと汝らが僕べの間に、寧んぞ嚴然たる階層と収入の差別無きを得む。

世界の他の國にありては、民主主義を標榜する國と然らざる國とを問はず、國會に於ける議員の質問を、事前に政府側に通報する國も無ければ、政府側答辯者に、日本の如く詳細なる答辯資料を作成し、御進講を行ふ國も、他にあるを聞かず。

こは日本の、他に類例なき獨自性にして、我らが國の民主主義の、世界に冠たる卓越性を示すものに非ずして何ぞや。

(令和三年三月二十八日受附)

